

第4回 境川かわまちづくり懇談会議事録（概要）

- 1 開催日時 令和4年7月20日（水） 10時00分～12時10分
- 2 開催場所 浦安市役所4階 S5・S6会議室
- 3 出席者

（学識者）

法政大学 陣内 秀信 特任教授

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

（沿川自治会）代表者8名

堀江一丁目自治会、堀江二丁目自治会、堀江三丁目自治会、堀江四丁目自治会

第8区自治会、猫実東自治会、潮音の街自治会

タイムレストタウン新浦安自治会

（関係団体）代表者8名

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村

うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク

一般社団法人浦安観光コンベンション協会、浦安商工会議所

（河川管理者）2名

千葉県葛南土木事務所 調整課 永井主査

真間川改修課 中村副主査

（事務局）

道路整備課 須賀課長、小泉課長補佐、千葉河川海岸係長、田中工務係長

竹内主任主事、河本主任主事、岩楯主任主事、広瀬主任主事

商工観光課 米川主任主事

郷土博物館 島村副主幹

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、八町、風間、利満、坂本

株式会社建設技術研究所 古賀、高木

4 議 題

- (1) 前回までの振り返り
- (2) 「かわまちづくり」の協議会について
- (3) 市の考えるスケジュール（案）
＜質疑応答＞
- (4) 現在進行中の活動報告
- (5) 意見交換① 「どのようなグループでこれから議論していったらよいか？」
- (6) 意見交換② 「参加したいグループの調整と新しいグループでの意見交換」
- (7) その他

5 会議経過

- (1) 前回までの振り返り
境川整備の中での境川かわまちづくり懇談会の位置づけや、令和3年度に開催した第1回から第3回までの境川かわまちづくり懇談会の開催状況及び主な意見等について説明を行った。
- (2) 「かわまちづくり」の協議会について
「かわまちづくり」、「かわまちづくり」支援制度、「河川敷地占用許可準則」及び「河川空間のオープン化」、「かわまちづくり」の協議会について説明を行った。
- (3) 市の考えるスケジュール（案）
令和4年度の境川かわまちづくりのスケジュール（案）及び個別の活動内容を議論する（仮称）勉強会について説明を行った。

質疑応答

<p>Q. 資料を拝見すると境川の河口の部分が対象に入っていないように見えるが、右岸側の船溜まりの部分をどう考えるのか確認したい。境川の一角でモデルとして非常に重要な場所になると思う。</p>
<p>A. 明確に対象外とは考えていない。かわまちづくりの中で河口部の整備との連携についても検討していきたい。</p>
<p>Q. 昨年からはまった懇談会であるが、令和元年度には報告書がまとめられているという話である。決まって進めているものと、今後私たちが考えていくものを切り分けがよくわからないので教えてほしい。</p>
<p>A. 令和元年度にまとめた報告書は、あくまでも市としての整備の指針を示したものであり、この中でかわまちづくりや市民・団体主体のエリアマネジメントに取り組むことを示している。市が単純にハード整備をするだけでは、境川が本当に活用される河川にはならないため、懇談会を通じて活用のしかたを議論し、詳細の整備、各団体で取り組むソフト事業等についてもこれから考えていこうとしている。</p>
<p>Q. 前回、境川公園の整備を行うという説明があったが、それは決まったということでしょうか。</p>
<p>A. 境川公園をはじめとするD1 - 1ゾーンについては、市民や関係団体が主体となった活動ができる土台づくりの観点から、モデル的に今整備に取り組んでいる状況で、懇談会と同時並行に進めている。</p>
<p>Q. 協議会は多くの方が参加する大きな組織になる印象を受けたが、勉強会というのを設立するならばよいと思う。</p>
<p>A. (仮称)勉強会は、ここに集まっている方に限らず、広くいろいろな主体と連携して会議体を構成していく。このあり方も含めて懇談会で考えていく。協議会は、勉強会で考えたものを計画として承認する機関と考えている。</p>
<p>Q. 懇談会参加者に女性が少ない。協議会には女性が入りやすいよう配慮してほしい。</p>
<p>いただいた指摘を踏まえ、市としても協議会の構成等について詳細を考えていく。</p>
<p>Q. 住民参加の場合は時間帯が重要である。仕事をしている人が参加できない時間帯は極力避けるべきである。</p>
<p>A. これから行う(仮称)勉強会は市もサポートするが、参加者、開催日時、スケジュール調整も含め、実際に活動する方が主体的にどのような会議にしていきたいかを決めていく形にしたいと考えている。多くの方が参加できるよう、開催日時等について、懇談会参加者とともに検討していきたいと考える。</p>
<p>Q. ゾーン区分は便宜的に決められたもので、市民として理解できる表記なのか市民参加の中で議論したい。</p>
<p>A. 令和元年度の報告書の中では、ゾーンごとに「歴史の水辺」や「賑わいの水辺」等の位置づけをしている。市民がわかりやすい名称について必要性も含め検討したい。</p>
<p>Q. 水辺を使いたい親水護岸がほとんどなく、船着場もない。一部船の係留はあるが、それを含めて船着場をいろんな形で整備していくのも重要ではないかと思う。</p>
<p>A. 親水性も含め、市民の方や関係団体の方が、行いたい活動のための整備について皆さんと考えていきたい。</p>

(4) 現在進行中の活動報告

オープンハウスの結果及び西水門開放（試験運用）について説明を行った。

(5) 意見交換① 「どのようなグループでこれから議論していったらよいか？」

4グループに分かれて（仮称）勉強会のテーマについて議論を行い、各グループの代表が発表を行った。

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
テーマ	・ 水質改善 ・ 水辺の使い方 （日常・まつり・クリーンアップ） ・ 環境学習	・ 水質問題 ・ 防災 ・ 水辺の活用 （散策・沿川緑地との関係）	・ 環境・水質（水と緑） ・ にぎわい ・ 水面利用 ・ 歴史・文化・ルーツ ・ 教育	・ 浦安らしさ

(6) 意見交換② 「参加したいグループの調整と新しいグループでの意見交換」

4グループで出されたテーマについて全体討議を行い、参加したいグループの調整を行った。

No.	テーマ	関連事項
1	水・自然環境	水循環、水質
2	水辺・水面の活用	関わる人の輪を広げる、PR
3	教育	未来の境川の活動主体の育成、子どもたち
4	文化	歴史・浦安らしさ
5	防災	水害、液状化、堤防、歴史

(7) その他

- ・ 次回の第5回懇談会は8月4日午後1時30分から江戸川区の新川の現地視察を予定している。
- ・ 新川は、住民が維持管理に協力している千本桜、民間企業が協力した修景整備、水辺に親しめる空間づくりや水質維持の取り組みなどの先進事例で、境川かわまちづくりの参考になるものと考えている。
- ・ 当日は約2km弱の距離を歩くが、暑い時期なので帽子、水分等の熱中症対策をした上で、参加をお願いする。
- ・ 東京都では、新型コロナウイルスの感染が増えている状況であるため、視察の受け入れが難しい場合もある。その場合は、早めに連絡する。

開催状況写真



意見交換（グループ1）



意見交換（グループ2）



意見交換（グループ3）



意見交換（グループ4）



グループ1の意見交換キーワード



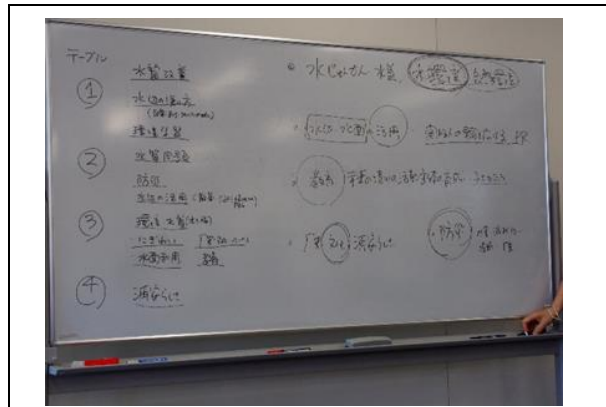
グループ2の意見交換キーワード



グループ3の意見交換キーワード



グループ4の意見交換キーワード



テーマのとりまとめ